

関連する教科書単元

国語 (光村) 1 学年 単元名「じどう車くらべ」 2 学年 単元名「おもちゃの作り方」

理科 (東書) 3 学年 単元名「ゴムの力と働き」

1 年 2 年縦割学習	単元名	ゴムで動く車を、走らせてみよう！	4 時間
単元の目標	1 年国語 学習したことを元に、じどう車の種類やつくりや働きについて、図を示しながら発表することができる。 2 年国語 「しかけカード」の構成を元に、「ゴムの力で動く車の作り方」を分かりやすく説明できる。 3 年理科 ゴムの働きを知り、ゴムの力は、物を動かせることがわかる。相手に応じて手順をわかりやすく説明したり、協力して組み立てたり、話し合いながら実験を工夫したりできる。		
日本語の目標	・「はじめに」「次に」「それから」「最後に」「遊び方は、まず～」など手順や事柄の順序を表す言葉に気をつけながら説明する。 写真と文を照応させながら、適切な間をとり、相手にわかりやすく伝える。 それぞれのじどう車の「しごと」と「そのために」どのような「つくり」になっているか構成を考えて説明する。 〈しごとの文〉 ・ ～は、～しごとをしています。 〈つくりの文〉 ・ ～は(が)、つくってあります。(なっています。) ・ ～がついています。(あります。) 〈つなぐ言葉〉 そのために		
学習課題	1 年：作成した「じどう車ずかん」で、じどう車の種類やはたらきとつくりを発表しよう。 2 年：「ゴムで動く車の組み立て方」をわかりやすく伝えよう。 3 年理科：ゴムで走る車を正しく組み立てて、できるだけ速く遠くまで走らせよう。		
主な学習活動	それぞれの車の「はたらき」と「つくり」を整理して、「じどう車ずかん」をつくり、 絵と文で、ゴムの力で動く車の組み立て方を順序よくわかりやすく説明する 組み立てた車で、		

学習活動計画

時限	内容	活動	ポイント
1	学習課題を掴む	1 年 めあて 「じどう車ずかん」を作ろう。 挿絵や言葉を手掛かりにしながら、それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」の関係を読み取り、図鑑カードを仕上げる。	「じどう車ずかんを作る」という単元のゴールに向け、メモを基に「図鑑カード」に自分が選んだ自動車の説明文を書くことを確かめる。「しごと」と「つくり」がわかるよう確認する。
	学習課題を掴む	2 年 めあて 「ゴムで走る車の組み立て方や使い方」の説明文を書こう。 ・相手にわかるように工夫する。 説明の順序……箇条書き、常体の文章で短く など 説明書に必要な要素 ・ 見出し(ざいりょうとどうぐ、作り方、つかい方) ・ 順序を表す言葉(まず、つぎに、それから、こんどは、さいごに、これで) ・ 写真(文と合わせる)	・「しかけカード」の説明書構成や、表記事項、順序や手順を表す言葉を提示し、それらを参考に説明書を仕上げる。 ・部品の名称を確認する。

		<ul style="list-style-type: none"> ・メモカードをもとに下書きをする。 ・文章を読み返し、誤字・脱字などに気をつけて、清書する。 	タイヤ タイヤ軸 車体 プ ロペラ 車体とプロペラを支 える柱 等
2	発表会準備	1年 めあて「じどう車ずかん」を友達と交換して読み合おう。 ○「じどう車ずかん」が出来たら、友達と二人組になり、交換して読み合う。 友達のよいところを見付けて感想を伝える。終わったら相手を変え、また読み合う ようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方を確認 声の大きさ・間の取り方・速 さ・視線・等
	発表会準備	2年 めあて リハーサルをして、お互いにアドバイスをしよう。 ○完成した文章を友達同士で読み合い、感想を伝え合う。説明の順序や、絵や写真の 入れ方などについて友達と意見を交流する。	課題の共有 リハーサルの反省から、共通 の課題を持って臨む。
3	・発表会形式	めあて 1年「じどう車ずかん」でいろいろな車の「はたらき」と「つくり」を発表しよう めあて 2年「ゴムで動く車の組み立て方」をわかりやすく説明しよう。 ○ポスターセッション形式で発表会をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・初めに発表する学年と、聞く学年を決め、時間で交代する。 ・聞く児童は、「組み立て方」「動かし方」に焦点をしばって聞き、わからないと ころを質問できるようにする。 ・メモを取ったり、感想を書き込んだりする。 	投影機を活用 「じどう車ずかん」や、「ゴ ムで動く車の組み立て方」の 挿絵などを、皆に提示しなが ら発表させる。
	振り返り	○説明のよかったものを取り上げ、もう一度全員の前で説明し、具体的に発表の仕 方を検討する。	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で確認する。
4	学習課題を掴む 縦割り活動 振り返り	めあて「ゴムで動く車」を速く遠くまで走らせてみよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・縦割りペアに別れ、相談しながらゴムで動く車を組み立て、できた車を走らせる。 ・どの縦割りペアが、車を遠くまで走らせる事ができるか競争する。 ・優勝したペアに、遠くまで走らせる事ができたのはなぜか、その理由を確認する。 	実験の予想や遠くまで走らせ するための工夫など児童間で話 し合い、協力して、ゴムの弾 性によって物が動くことを体 感させる。また、気付いたこ とや感想を交流し、課題をも たせる。